

プレスリリースアワード 2022 審査員全 8 名が決定

今年新たに日経ビジネス磯貝氏、元ヤフトピ奥村氏、Forbes JAPAN 谷本氏

- NewsPicks、東洋経済オンラインなど各メディア関係者らも審査員として参加 -



プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム：3922）は、メディア関係者やパブリック・リレーションズ見識者の 8 名を「プレスリリースアワード 2022」の審査員メンバーに決定いたしました。この 8 名の審査員により、一次審査と最終審査会を実施し、授賞するプレスリリースを決定いたします。

【プレスリリースアワード 2022】エントリーはこちら 2022 年 9 月 5 日（月）まで受付中
<https://tayori.com/f/pressrelease-award2022/>

プレスリリースアワード 2022 審査会 8 名を決定

「プレスリリースアワード」は、プレスリリースの可能性拡大に貢献した企業と担当者を讃えるアワードで、2021 年に PR TIMES が立ち上げました。当アワードでは、プレスリリースを発信するという習慣が、業態・規模・地域・法人個人を問わず広がり、表現方法や用途に対し発展性を持たせることを目指しています。1 年間に国内で発表されたプレスリリースを対象に、社会性・公共性・共感性・将来性等の視点から、プレスリリースの可能性拡大に貢献したものを審査・選考し、表彰します。

「プレスリリースアワード 2022」審査会は、メディア関係者やパブリック・リレーションズに関する見識を持つ方々を審査員に迎え、1 名を除き当社外の独立した立場から審査できる 8 名で構成しています。今回新たな審査会メンバーとして、日経ビジネス編集長の磯貝高行氏、東京都市大学メディア情報学部教授でヤフー・トピックス元編集長の奥村倫弘氏、Forbes JAPAN 執行役員 Web 編集長の谷本有香氏の 3 名にご参加いただきます。以下に審査会の全 8 名を紹介いたします（※所属・役職は 2022 年 8 月時点）。

【2022 年より新たに参加いただく審査員】

磯貝高行 日経ビジネス編集長

新潟県出身。1993 年京大文卒、日本経済新聞入社。東京本社と大阪本社で主に企業取材を担当した。日経電子版のマーケティング担当、経営企画室などを経て、2021 年 4 月から日経ビジネス編集長。



奥村倫弘 東京都市大学メディア情報学部教授

1969 年生まれ。92 年、読売新聞大阪本社に入社。98 年にヤフーに転職し、ヤフー・トピックスの編集責任者を長く務めた。2019 年より現職。主著に『ヤフー・トピックスの作り方』（光文社新書）など。



谷本有香 Forbes JAPAN 執行役員 Web 編集長

Bloomberg TV、日経 CNBC を経てフリーランスに。トニー・ブレア元英首相やスターバックス創業者等の世界 3000 人以上の VIP にインタビュー。現在は報道番組の出演、政府系スタートアップコンテストの審査員など多岐に活躍。2016 年より Forbes JAPAN に参画し、2021 年より現職。



【2021年より引き続き参加いただく審査員】

池田光史 NewsPicks 執行役員 CXO

1983年鹿児島生まれ。2007年東京大学経済学部卒業。週刊ダイヤモンドにて金融、日銀・財務省、自動車を担当。16年よりNewsPicksにて「電池ウォーズ」「テスラの狂気」「iPSの失敗」など担当。19年より編集長。2022年7月よりCXO（Chief Experience Officer）。



浦野有代 株式会社宣伝会議 月刊『広報会議』編集長

2003年入社。『編集会議』編集長、『販促会議』編集長、書籍部長を経て2020年より現職。広報実務者のための専門誌『広報会議』にてメディア対応、リスク管理、社内広報など実践に役立つ手法や考え方を取材。



河灵珍 國學院大學 観光まちづくり学部 准教授

國學院大學 観光まちづくり学部 准教授。1982年生まれ。韓国梨花女子大学卒業、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。博士（学際情報学）。専門はパブリック・リレーションズの歴史社会学。



吉川明日香 東洋経済オンライン編集長

1979年熊本県生まれ。2001年に東洋経済新報社に入社。経済・企業記者として『週刊東洋経済』『会社四季報』などに執筆。2012年の東洋経済オンライン全面リニューアルに参画、2016年から副編集長、2020年10月から編集長。



三島映拓 株式会社PR TIMES 広報PR管掌取締役

1980年島根県生まれ。2003年東京大学文学部卒業。05年ベクトル入社。07年PR TIMES入社後、CS、PRプランナー、アライアンス、広報など経験し、17年より取締役。経営管理と自社PRを担う。



プレスリリースアワード2022について

プレスリリース発信文化の普及と発展のためにPR TIMESが2021年に立ち上げたのが「プレスリリースアワード」です。1年間の内に国内で発表されたプレスリリースの中から、社会性・公共性・共感性・将来性等の視点から、プレスリリースの可能性拡大に貢献したものを審査・選考し、表彰します。初年度開催となった昨年は総計420件のエントリーから32件が最終審査へとコマを進め、最終審査会の議論の末、大手日用品メーカーから地方BtoB企業まで異なるジャンルの8社のプレスリリースが受賞に至りました。

また、「プレスリリースアワード」は大賞を決める性質のアワードではなく、各部門で輝くプレスリリースを表彰します。現段階ではイノベティブ賞、インフルエンサー賞、ソーシャル賞、パブリック賞、エンパシー賞、ヒューマン賞、ストーリー賞、特別賞8つの部門賞を贈ることを予定しています。



「プレスリリースアワード2021」受賞企業8社

【プレスリリースアワード2022 | 応募概要】

エントリーフォーム：<https://tayori.com/f/pressrelease-award2022/>

受付期間：2022年7月25日（月）～2022年9月5日（月）

応募対象：2021年9月1日（水）～2022年8月31日（水）に日本国内で発信されたプレスリリース
※複数エントリーいただく際は、各プレスリリースごとにエントリーをお願いいたします

※「PR TIMES」ご利用有無は問いません。公に発信された全てのプレスリリースが応募対象です

プレスリリースアワード2022 | 詳細と昨年度受賞企業のコメント

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001201.000000112.html>

プレスリリース2021レポート | 全受賞作品と受賞ポイント

<https://prtimes.jp/magazine/award-2021-report/>

エントリーに関するよくあるご質問

<https://tayori.com/q/pressrelease-award2022/>

株式会社 PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報
が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、企業とメデ
ィア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービス
「PR TIMES」を2007年4月より運営しています。報道機関向けの
発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信するとと
もに、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載し、生活者
にも閲覧・シェアされています。利用企業数は2022年5月に6万
9000社を突破、国内上場企業50%超に利用いただいています。情
報収集のため会員登録いただくメディア記者2万3000人超、サイ
トアクセス数は月間5900万PVを突破、配信プレスリリース件数
は累計100万件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパート
ナーメディア210媒体以上にコンテンツを掲載しています。
クライアントとメディアのパートナーとして広報PR支援を行うPR
パートナー事業や、ストーリー配信サービス「PR TIMES
STORY」の運営、動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」の提供、タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」や
クラウド情報整理ツール「Tayori」の運営も行っていきます。



【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES（東証プライム 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005年12月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営
- 広報・PRの効果測定サービス「Web クリップング」 (<https://webclipping.jp/>) の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR支援の実施
- 動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」 (<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
- アート特化型オンラインPRプラットフォーム「MARPH」 (<https://marph.com/>) の運営
- クラウド情報整理ツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営
- 広報PRのナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
- Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>

PR TIMES